



# 観光専門課程 フラワー学科:F校(福岡県)

商業実務

修業年数 2年

定員数 20名

主な就職先 花業界

6

## 学校と企業がカリキュラムを共同で編成

企業の担当者や地域の実力生花店代表などと活発に意見交換をする中で得られた情報をもとに、現代社会に必要とされる専門人材を育成できるカリキュラムに毎年見直しをおこなっています。たとえば、外国人観光客の増加に合わせて、和のおもてなしを花で表現するための日本の伝統的な花の飾り方や華道も取り入れています。



## 実習・演習形式の授業を実施

学校でおこなうフラワーアレンジメントの授業には、数々の国際的なコンクールで実績を上げているアーティストの方が外部講師として指導に加わっています。将来を見据えて芸術性の視点からの作品作りと技術を磨いてもらえることは、学生にとってこの上ない刺激となっています。

また、「企業研修」においては、実際の業務を手伝いながら、実践に即した指導がおこなわれます。たとえば、ブーケの作成ひとつをとっても、学校の授業ではあらかじめテーマに合わせて用意された花々で創作をおこないますが、研修では何十種類もの花の中から自分で花を選ぶことから創作活動が始まります。お客様の要望や目的に合わせたものづくりが求められるため、提案力やコミュニケーション力も培われていきます。

研修先は1箇所ではなく、路面店のフラワーショップや、葬儀も扱っている生花店、ハウス系、ホテル系の結婚式場などさまざまな形態の現場を経験し、自分の適性を見つめる機会ともなります。

## 教員の実力UPに向けた教員研修

社会の要請に応えるため、これまであまり取り組んでこなかったフューネラル(葬儀)関連の教育も取り入れています。そのためには教員も新しい知識、幅広い知識を身につける必要があり、葬儀社の方やフューネラル装花の現場で働いている卒業生にお話を伺うなどしながら学び、スキルアップに励んでいます。

## 企業などとの連携体制

もともと就職先となる現場の声を受けて、実践的な学びを得られるように企業研修を取り入れてきた経緯があります。花を扱う専門学校が全国的に数少ないこともあり、学生は将来の社員候補であることから、企業は積極的に教育活動に協力してくださっています。



### これから職業実践専門課程の認定を目指す専門学校の方へ

「教育課程編成委員会」という場を設けてじっくりと意見を交わすことで、学校の考える教育と企業が求める能力をすり合わせることができ、教育内容をさらに熟慮するためのよい機会となりました。また、認定を受けているということは、進路決定や将来の就職を考えている高校生、保護者などに対して説得力があると感じています。

### 専門学校との連携をお考えの企業等の方へ(連携企業等からのメッセージ)

在学中に就職先となる企業とのマッチングをおこなえることや即戦力となる人材を育てられることは非常に意義のあることです。学生が高いモチベーションを保って日頃の学習に取り組み、将来的な目的達成へのイメージをもって就業することで、優秀な人材の長期就労が実現していると考えています。

### 行政や専門学校団体の方へ(支援に取り組んでいる行政団体からのメッセージ)

県の専各協会では、職業実践専門課程に新たに申請する予定の学校に対し、既に認定されている「先輩校」から助言を得られる仕組みをつくり対応しています。助言の内容は書類の書き方に加え、企業と連携を進めていく上での体制作りなどノウハウも含まれます。学校同士の切磋琢磨が職業教育の質向上につながると考えています。

# 7



服飾・家政

## 服飾専門課程 服飾デザイン科:G校(岡山県)

修業年数 3年

定員数 1学年40名

主な就職先 アパレル・デニム関連

### 学校と企業がカリキュラムを共同で編成

将来の人生設計ができる人材を育成するために、学生の「考える力」や「時代のニーズを読みとる能力」を伸ばすためのカリキュラムを作成しています。また、ファッションデザイン分野の企業や職能団体等の関係者が集まり意見交換する場を設けることで、最新の業界ニーズを把握し、それらをカリキュラムに反映しています。

### 実習・演習形式の授業を実施

2年次に2回(前期・後期)、1~2週間ずつ企業実習をおこないます。実習を通して、販売、生産、デザイン、縫製などの仕事を体験することで、自らの可能性や適性を知ることができます。

実習開始時には、まずは情報収集をおこなった上で実習先を訪問し、実習内容に関する打ち合わせをおこないます。その後、実際の現場で販売やデザイン、縫製などを体験します。実習中は毎日「実習日誌」を書き、実習先からのコメントをもらうことで、1日の振り返りをおこないます。また、実習後は学校側から実習先に対しアンケート調査を実施します。学生はその結果をもとに自己分析をおこなうことができます。

実習を経験することで、自身の働く未来の姿が想像できるようになり、同時に業界の常識や知識、求められる即戦力も身につけることができます。

### 教員の実力UPに向けた教員研修

企業からの派遣講師による研修や教員向けのインターンシップ(企業を訪問し、最新の生産管理手法等を学ぶ)などを実施すると同時に、教員自らの積極的な研修受講を奨励しています。たとえばファッション教育振興会が開催する教育セミナーや企業が主催する品質管理やトレンドマーケティングなどの研修の受講を推奨しています。

### 企業などとの連携体制

実践的かつ専門的な能力を持つ人材を育成するために、企業と連携した実習、企業と学生の交流イベントの開催、企業などからの制作依頼に基づき学生が作品を作り上げる仕組みの整備など、さまざまな切り口から企業連携を図っています。年度末には産業連携のイベントを開催しており、現在の連携先企業は80社以上にのぼります。



### これから職業実践専門課程の認定を目指す専門学校の方へ

教育課程編成委員会を設けることにより、今まで以上に業界ニーズを把握し、実践的なカリキュラムを作成する体制を整備することができました。今後は、「認定校は実践的な人材を育成している」という認識が企業側に広まることで、職業実践専門課程の価値がさらに向上するのではないかと期待しています。

### 専門学校との連携をお考えの企業等の方へ(連携企業等からのメッセージ)

学生の受け入れは、指導担当者の成長につながります。また、基礎知識・基礎技術のある優秀な学生を、実習期間終了後はアルバイトとして、卒業後には社員として雇用することができるケースもあります。学生を初めて受け入れる場合、最初は戸惑うこともありますが、結果的には企業側も多くのメリットを享受できることでしょう。

# 文化・教養専門課程 ダンス学科:H校(大阪府)

文化・教養

修業年数 2年

定員数 1学年240名

主な就職先 音楽・エンターテインメント業界



## 学校と企業がカリキュラムを共同で編成

現役で活躍するプロの講師陣や連携している企業と頻りに意見交換をおこなっています。企業からのアドバイスに基いて、最先端の機材を導入したり、海外から講師を招聘するなど業界最前線のトレンドにも対応できるカリキュラムにしています。

## 実習・演習形式の授業を実施

1年次には、専攻に関わらず全員が参加する、必修のミュージカル実習があります。何ヶ月もかけて全員で一つの舞台をつくり上げるこの経験は、大変ですが、自分の長所や弱点を見つけたり、将来の仕事を考えていく上で、とても有意義なものです。

ミュージカル実習では、現場で活躍するプロの講師から指導を受けることができます。芸能の分野では、学生のみなさんの「やりたいこと」と就職先の企業から「求められること」がびったり合わないこともあります。ミュージカル実習などを通じてたくさんのお客さんに喜んでもらったり、先生に相談に乗ってもらったりしながら、少しずつ「やりたいこと」と「求められること」のバランスを取った将来を考えていくことができるでしょう。



## 教員の実力UPに向けた教員研修

本校には、現場で活躍するプロや、基礎を長年教えているベテランの教員、みなさんの相談に乗るスタッフなどさまざまな教員がいます。すべての教員に共通して重要なことは、技術だけではなく、「この分野で働くということはどういうことか」という職業観を伝えることです。本校では、そのための教員研修を用意しています。

## 企業などとの連携体制

本校は長年、200社をこえる企業と連携した教育活動をおこなっています。在学中から、連携先の企業が開催するイベントに出演したり、スタッフとして参加したりするチャンスがあります。実習では、現場で活躍する本校の卒業生が、講師のアシスタントとして教えてくれることもあります。



### これから職業実践専門課程の認定を目指す専門学校の方へ

以前から力を入れていた産学連携の取り組みが、職業実践専門課程という形で認められることにより、さらに社会的に評価されるようになって考えています。この制度が高校生や高校の先生にもっと認知されるように、私たちが努力していきたいと思えます。

### 専門学校との連携をお考えの企業等の方へ(連携企業等からのメッセージ)

企業が必要としているのは即戦力ですが、実習などでの連携が、即戦力を採用するきっかけとなっています。また、学生さんを指導していると、逆に指導者側が学生さんから学ぶことも多いと感じます。学生さんの熱意や真摯な姿勢に影響を受け、我々も初心に戻って仕事に取り組むことができています。

### 行政や専門学校団体の方へ(支援に取り組んでいる行政団体からのメッセージ)

大阪府では以前から、学校や企業を交えて職業教育・キャリア教育に積極的に取り組んできました。各専門学校が、職業実践専門課程認定に向けて取り組む中で、より質の高い職業教育を提供するようになることを期待しています。大阪府では職業実践専門課程の認定を目指す学校からの相談などに対応し、サポートしています。

## 職業実践専門課程サイトのご案内



- 職業実践専門課程の仕組みや具体的な取組事例について紹介しています。
- 「コースを探す」では職業実践専門課程に認定されているコースをジャンル(分野)や都道府県、キーワードにより検索し、そのコースの概要を調べることができます。
- 「数字で見る職業実践専門課程」では連携企業や在学生からの評価についても紹介しています。

 職業実践専門課程サイト 文部科学省

<http://syokugyo-jissen.jp>

本パンフレットは、文部科学省委託事業「職業実践専門課程」の実態等に関する調査研究」の調査結果に基づき作成しています。  
調査対象:職業実践専門課程の認定を受けた課程、当該課程に在籍する学生、当該課程と連携した取組を行う企業 調査期間:平成26年10月～平成27年1月

文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03(5253)4111(代表) [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/1339270.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1339270.htm)